

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可
二〇一九年十二月六日発行(毎月十八回一、二、三、五、六、七の日発行)
SSKP通巻第七三〇八号



SSKP



Aikoh

福祉社会への道を照らす 愛の灯台
～一隅を照らす実践、地域への貢献～ No. 70



報 告
Aikoh
ヒストリー

法人事業所移転25周年 はちす苑開設20周年記念行事

2019年11月15日(金)はちす苑千田ホールにおいて、「法人事業所移転25周年 はちす苑開設20周年記念行事」が開催されました。当日は、地域住民の方を含む約100名の方が参列され、第1部では白井崇陽ヴァイオリンコンサート、第2部では

は記念式典、記念講演が行われました。記念講演では社会福祉法人経営者協議会 武居敏副会長より「社会福祉法人の今後を考える」と題して、これからの社会福祉法人のあり方についてお話しいただきました。



第1部 白井崇陽ヴァイオリンコンサート

ヴァイオリンコンサートでは、「情熱大陸」や映画音楽「シンドラーのリスト」など、なじみのある曲目と視覚障害のある白井さんの巧みな話術に引き込まれ、軽快なリズムに手拍子するなどあっという間に時間が過ぎました。地域の方々から、「大変よかった」との満足の声が聞かれました。

第2部 記念式典 理事長挨拶

西原弘明理事長は挨拶で、佐倉市への事業移転を機に法人事業が大きく方向を転換した。いまや事業は、障害、高齢、児童という分野をカバーし、「総合的福祉サービス」という経営ビジョンにふさわしい事業展開をする法人となった。また日常生活圏域である根郷・和田・弥富地区を中心に地域福祉支援を進めている。これは移転時の「地域の理解なくして福祉なし」の教訓から得たものである。法人では地域共生の一連の取り組みを「ともいき」事業として発展させ、地域福祉の推進に務めたい、と話しました。



西原弘明理事長

記念式典 <表彰者紹介>

記念式典では、法人事業にご尽力いただいた地域の方2名の方に感謝状が贈呈されました。

- いとうクリニック院長 伊藤加寿子様**
法人の嘱託医、産業医として25年にわたり、利用者、職員の保健医療の増進に貢献されています。
- 佐倉きこ園園長 齋藤 勇人様**
地元協力者として20年以上にわたり法人に農地を提供、福祉サービスの増進に貢献されています。



感謝状を贈呈される伊藤加寿子様

第2部 記念式典 <記念講演>

「社会福祉法人の今後を考える」講師 武居敏経営協議会副会長

副題として「2040年問題と地域共生社会の実現」をあげ、2040年には、少子高齢問題に加え人口減少社会への対応が求められる。社会福祉法人経営では、利用者の減少による事業の継続や展開、福祉人材の確保がますます困難になる。また地域の衰退や家族機能の脆弱化による生活課題の複雑化、困難化が進み、社会福祉の重要性は高まる。地域共生社会の実現のため、2040年の「社会保障制度が低下した社会」において「市場では対応できない人々を支援する」ため、社会福祉法人が不可欠である。最後まで地域の福祉を担うことができる経営の継続性が必要であると話されました。



はちすの思いプロジェクト 行動指針作成



らしく、楽しく、末永く。

高齢者ケアセンター はちす苑

はちす苑 8つの誓い (行動指針)

- 1 口からの食事をあきらめません(食事)
- 2 おむつに頼りません(排泄)
- 3 機械浴に頼りません(入浴)
- 4 起こしたままにしません(利用者主体の生活習慣尊重)
- 5 拘束とされる接遇をしません(権利擁護・虐待防止)
- 6 最後までその人らしさをあきらめません(ターミナルケア)
- 7 薬に頼りません(健康管理)
- 8 リスクにとらわれません(行動の自由と安全の両立)

高齢者ケアセンターはちす苑は、「はちすの思いプロジェクト」を立ちあげ、ロゴマーク、キャッチコピー、行動指針を作成しました。ロゴマークは、ハス(はちす)の花と数字の8と永久(とわ)の幸せを心がけてきました。開設して20年、積み上げてきたケアの集大成と更なるサービスの向上をめざして、

ちょっと一言

はちす苑ができるまで
の物語

はちす苑の建設までには、さまざまな物語がありました。今回取材を進める中で、我々広報委員も知らなかった物語がありました。

「はちす」とは、漢字で『蓮』と書きます。白や薄紅色の大きな花で知られる池や沼に咲くハスのことです。平和で穏やかな日々を過ごせるように、という願いを込めて開設当時法人の理事であった、淑徳大学長谷川匡俊理事長の提案で命名されました。計画段階では、施設名を「くやわらぎ」として進めていた時期もあったようです。

はちす苑の名前の由来は？

建設予定地には古代人の住居跡が

建設前に確認のため土地を掘り起こすと古代遺跡を発見! その名も「太田長作遺跡」と名前もついています。1997年専門家によって発掘作業が行われ、縄文時代や弥生時代の遺跡が発掘されました。





ほっとで ホツとできるところ

～児童センター・学童保育所～



学童保育所は、「ただいま!」「おかえりなさい!」から始まる、自宅に代わる『第二のお家(うち)』です。

子どもたちが自分の家のようにリラックスして過ごせる場所づくりと、満足度の高い遊びの提供を心がけています。そのため職員は、生活や遊びをとおして一日のうちに、お父さんやお母さん、友だちなど、さまざまな立場になって子どもたちと接します。時には、「超能力者」になりきって「今日の給食はカレーだったでしょう?」などと、洋服にカレーのシミが付いた子どもに声をかけます。すると、「なんで知ってるの?スゲー!」「私も当てて!」と、「超能力者ごっこ」が始まります。学童保育所の職員は、子どもたちと一緒に遊びを生み出したり、子どもたちの遊びに入れてもらったりしながら一緒に楽しいことを探しています。



学童保育所では…

保護者の就労支援も行っています。保護者が安心して働くことができるよう、学童保育所での子どもの様子や成長を伝えていきます。ときには、子育てや仕事以外の話題になることもありますが、

「話せてよかった!」と帰って行かれる方もいます。仕事から帰ってきた保護者も「おかえりなさい!」と、温かく迎えホツとできる場所づくりを心がけています。



心の成長と広がる輪

4月当初は、学童での生活に慣れず、ソワソワしていた男の子。自分の思いが言葉に表せず、他の子に手が出てしまうこともあり。その都度職員が間に入り、相手の気持ちを代弁したり汲み取ったりを繰り返してきました。その後、学童の生活にも少しずつ慣れてきた頃、女の子から「最近、たいたりしなくなったね!すごいね!」などと、男の子の成長をほめる一言が・・・ほめられた男の子は満面の笑顔になり、

その日から互いの距離が近づくと同時に、その輪が広がっていききました。

ドッチボールでボールを取ろうとして当たってしまい、悔し泣きをしている男の子に、「挑戦することはいいことだよ!」などと声をかける子が現れるなど、子どもたち同士が相手の努力を認め合う言葉をかけてくれるようになりました。子どもたちの心の成長と、言葉がもっている「魔力」を感じる出来事でした。

【佐倉市南部児童センター】
〒285-0806 佐倉市大篠塚 1587(南部保健福祉センター内)
TEL043-483-2800



RUN 伴千葉 2019in 佐倉 (開催地: 佐倉市西志津地区)

RUN 伴(ランとも)は、今まで認知症の人と触れ合う機会がなかった地域住民の方や、認知症の人や家族、医療福祉関係者が一緒にタスキをつなぎ、日本全国を縦断するイベントです。佐倉市では今回3回目の開催です。昨年はユーカリが丘イオン周辺を周回しましたが、今年は西志津ふれあいセンター「萌の広場」に場所を移し開催されました。

当日はお天気にも恵まれ、20チーム(約80名)のランナーが参加し、全員でオレンジのTシャツを着て疾走しました。

西田三十五佐倉市長や佐倉市のゆるキャラ「カムロちゃん」も応援にかけつけ、大会を盛り上げていただきました。

当法人からも障害者施設から3チーム(20名)、高齢者施設から1チーム(5名)の利用者職員が参加し、元気に走りぬきました。



地域に安心をとどける医療 ～いとうクリニック編～

平成4年に佐倉市山王に開設された「いとうクリニック」。生後間もない赤ちゃんからご高齢の方まで診察。身体だけでなく心の健康も大切に、とカウンセリング外来も実施しています。また、他機関との医療連携もしっかりと図られており、誰もが安心できるクリニックです。今回は院長の伊藤加寿子先生にお話を伺いました。



【いとうクリニック】
所在地 〒285-0807 千葉県佐倉市山王 1-39-6
電話 043-486-6656
診療時間 9:00～12:00 / 14:30～17:30
※診療受付時間は15分前で終了します。
※乳幼児健診は診療終了時間の30分前にはお越しください。
休診日 木曜・土曜の午後、日曜、祝日

「少子高齢化」はこの山王地域でも例外ではありません。患者様の傾向として子供の数が減り、ご高齢の方が増えてきました。認知面で不安な方も多く、中でも独居、ご高齢夫婦世帯の方は特に心配です。介護保険等の相談窓口である「包括支援センター」とも連携をとり、早期支援につなげられるよう取り組んでいます。また、通院が困難な患者さんには訪問診療も行っています。誰しもが住み慣れた地域で安心して生活出来るように、医療も介護もサポートしていきます。

最後に、笑顔が素敵な女性スタッフの皆様をご紹介。「私から指示しなくても、皆よく気付いて動いてくれるので安心して任せられるの。」と伊藤先生。きめ細やかで優しい医療を届けてくれるそんなクリニックです。



知っていますか？福祉に関するシンボルマーク

ふくしの時間です～車に関わる福祉のシンボルマーク、あなたは知っていますか？このコーナーでは、そんなシンボルマークを紹介します。

身体障害者標識 (身体障害者マーク)



肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークです

○豆知識○
身体障害者マークは、四つ葉のクローバー。クローバーの花言葉は“幸せの象徴”、このマークは一般公募で選ばれたものです。



聴覚障害者標識 (聴覚障害者マーク)



聴覚障害であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマークです

○豆知識○
聴覚障害者マークは、“蝶”と“聴”がモチーフになっています！蝶の羽も耳の形になっています。



感謝のコーナー (2019.7～2019.10)

法人ならびに各施設に対して、ご芳志をいただいた皆様です。厚く御礼申し上げます。勝手ながら敬称を省略させていただきます。(順不同)

【個人】宮嶋としえ、吉成 庸子、矢野 光子、酒井 綱一郎、宍田 紀子、難波 正吉、開沼 啓、宮野 義光
南部文化祭代表 河路 尚美、山岸 洋子、木村 俊雄、小柳 俊朗、杉原 照子、岡野 久美子、梅澤 治、荒木 直躬、田野 保

【団体】ネスレ日本株式会社、株式会社優ケア、株式会社東基、株式会社笹原工務店、株式会社楠山設計、総合保険サービス野村大作、千葉県視覚障害者福祉協会、千葉市視覚障害者協会、愛光家族協議会、さくら山王自治会、根郷地区社会福祉協議会、千葉理容、石田豊店、かぶらぎボランティア、松頼会

日誌抄録

(2019.7～2019.10)

7月 1日 辞令交付式
11日 メンティー交流会
17日 地域食堂ともいき(第5回)

9月 7日 後援会 バリアフリー上映会
13日 ボランティア交流会
18日 地域食堂ともいきボランティア交流会
20日 法人研修：評価者研修
25日 総合防災訓練
26日 手をつなぐスポーツの集い
28日 理事会

8月 3日 植草短期大学説明会
16日 介護マイスター養成研修
21日 地域食堂ともいき(第6回)
30日 千葉県人材センター見学会

10月 1日 大規模災害研修
4日 南部福祉センター 佐倉市監査
5日 愛光秋まつり
9日 全国盲重複障害者施設協議会全国大会(長崎)(～10日)
16日 地域食堂ともいき(第7回)



ル：ルミエール
根：根郷通所センター
よ：よもぎの園
包：南部地域包括支援センター
山：山王の家
め：めいわ
は：はちす苑
か：ワークショップかぶらぎ
児：児童センター・学童
後：後援会「愛の灯台基金」
リ：リホープ
ア：アシスト
ジ：ジョーの家
地：南部地域福祉センター

編集後記

今号で発行70号に到達しました。1号から振り返ると、施設の成り立ちからその当時流行っていたもの、福祉の流れなど”歴史”を感じる事が出来ます。今後もさまざまな事柄を取り上げながら、100号を超えるような広報紙を目指したいと思います。(清水)

編集委員

稲垣直子(委員長) / 林拓也(総務部) / 角田絵友(ルミエール) / 齊藤美佳(めいわ) / 佐藤友里恵(リホープ) / 清水翔斗(はちす苑) / 藤山明子(南部包括) / 椎名豊(ワークショップかぶらぎ)

2019年(令和元年)12月20日発行
社会福祉法人 愛光
発行人 西原 弘明
編集人 広報委員会
〒285-0807千葉県佐倉市山王 2-37-9
TEL.043-484-6391
FAX.043-484-6396
E-MAIL mail@re-aikoh.or.jp
U R L http://www.re-aikoh.or.jp
印刷：ワークショップかぶらぎ

愛光後援会 愛の灯台基金だより

科目	予算額	決算額	付記
収入の部			
会費収入	1,000,000	846,000	169名
行事収入	2,500	21,300	
愛光秋まつり	2,500	3,100	
コンサート2018	0	0	
ほっとタイム(村文楽協賛会)	0	18,200	
寄附金収入	0	511,600	
雑収入	100	13	普通預金利息
収入合計(1)	1,002,600	1,378,913	
事業費	819,685	852,197	
事業運営費	232,000	221,834	
愛の灯台花壇	170,000	170,424	花壇維持費¥168,900・春植費¥1,524
入会謝礼金	2,000	328	
愛の灯台基金寄附金	60,000	51,082	
行事運営費	257,000	288,338	
愛光秋まつり	7,000	5,881	
ハリアフリー上映会	10,000	30,174	
チャリティあいこ	30,000	17,850	
ほっとタイム(健康健全育成活動)	10,000	8,800	(影絵 出演者共済代として)
ほっとタイム(村文楽協賛会)	200,000	194,995	
コンサート2018(ダ・カーポ)	0	30,638	
助成金	330,685	342,025	
地域各種行事	135,000	140,000	
さくら山王夏祭り	10,000	10,000	
わくワークフェスタ	10,000	10,000	
根郷福祉まつり	10,000	10,000	
体育祭(根郷)	5,000	5,000	
根郷ガーデニング	50,000	50,000	児童健全育成活動(サッカー大会)
こども食堂	50,000	50,000	
宮前ローズタウン自治会	0	5,000	
愛光秋まつり	30,000	20,000	ボランティア表彰(4名)
Aikohフォーラム	55,685	55,685	総合相談センター主催 講師料
西日本書局茨城支店	0	8,740	
法人新年会	10,000	10,000	
ボランティア保険	100,000	107,600	192名分・平均額¥50,000(142名)
事務費	130,000	128,325	
事務消耗品費	10,000	2,160	
通信費	20,000	37,343	
会議費	80,000	74,214	
支払手数料	20,000	14,608	
予備費	50,000	0	
支出合計(2)	999,685	980,522	
当収収支差額(3)=(1)-(2)	2,915	398,391	
前年度繰越金(4)	9,708,927	9,708,927	
次年度繰越金(3)+(4)	9,711,842	10,107,318	

2018年度 愛の灯台基金 事業報告・決算書 (2018.7.1～2019.6.30)

② 貸借対照表
(2019年6月30日 現在) (単位：円)

資産の部			負債の部		
科目	当年度末	前年度末	科目	当年度末	前年度末
現金	0	0	前受金	0	8,000
小口現金	0	22,289	負債合計	0	8,000
普通預金(京葉銀行)	1,812,369	1,573,928	繰越金	0	8,000
普通預金(ゆづり銀行)	4,294,949	4,000,710	次年度繰越金	10,107,318	9,708,927
定期預金(ゆづり銀行)	4,000,000	4,000,000	繰越金合計	10,107,318	9,708,927
立替金	0	120,000	負債合計	10,107,318	9,708,927
資産合計	10,107,318	9,716,927	負債-繰越金合計	10,107,318	9,708,927

ほっとタイム 桂文雀独演会 報告
2019年4月27日(土) 来場者数150名
佐倉市南部地域福祉センターA棟大広間

バリアフリー映画上映会 報告
2018年12月15日(土)「あん」来場者数 58名
視覚障害者総合支援センターちば 5階
(JR四街道駅徒歩5分)
助成事業

- ・根郷ガーデニング
- ・根郷福祉まつり
- ・わくワークフェスタ
- ・山王夏祭り
- ・根っこ食堂 他

ギャラリーあいこ



バリアフリー上映会 アゲイン!

2019年度は、高齢者ケアセンターはちす苑でも開催します!
「こんな夜更けにバナナかよ」
主演：大泉 洋

※入場無料
2020年2月15日(土)13時～
会場：はちす苑千田ホール
お問い合わせ先：後援会事務局
043-484-6398(林)

《予告》Aikoh フォーラム 2020年2月1日(土)

高齢の方や障害のある方が安心して地域で暮らしていくための知識

講師：東洋法律事務所 所長 吉野 智
場所：南部地域福祉センターB棟 研修室

お申込み・お問い合わせ先：佐倉市南部地域包括支援センター
電話：043-483-5520(高梨子)



社会福祉法人愛光 後援会 愛の灯台基金主催 **あいとひかりのコンサート2020**

劇団飛行船マスコプレイミュージカル

ぼくは守る!!
なかまのみらい



Gekidan
HIKŌSEN

2020年6月13日(土)

開場13:00 開演時間 13:30~15:30

会場:佐倉市民音楽ホール

チケット販売

全席自由(3歳児~)
¥2,000

2020年1月6日~

販売先:後援会 愛の灯台基金 事務局

TEL:043-484-6398

お問い合わせ先:社会福祉法人 愛光 後援会 愛の灯台基金 事務局

〒285-0807 佐倉市山王2-37-9 TEL:043-484-6398 FAX:043-484-6396

後援:佐倉市・佐倉市教育委員会・佐倉市社会福祉協議会・
四街道市・四街道市社会福祉協議会・千葉県視覚障害者福祉協会